

花と渓谷と温泉のまち 垂水市



高峠つつじヶ丘公園

標高550m（山頂722m）の高峠。垂水市の北東に位置するこの峠一帯は、高峠つつじヶ丘公園となっており、平成24年3月には霧島錦江湾国立公園に指定されています。「サタツツジ」が約100種10万本ほど自生し、春になると山全体を赤やピンクに染め、多くの花見客で賑わいます。高峠山頂は展望所となっており、360度のパノラマが楽しめます。北には霧島連山、東には志布志湾、西には錦江湾と薩摩半島の山並、南には高隈連山が展望できます。



猿ヶ城渓谷

猿ヶ城渓谷は、高隈連山の麓にあり、県立自然公園とおおすみ自然休養林に指定されている自然豊かな渓谷です。清らかな水が流れ、所々に花崗岩の奇岩・巨岩が連なり、鹿児島百景にも選ばれています。市街地から約15分で行くことができるアウトドアスポットで、鹿児島県内で唯一、キャニオニング（沢下り）が体験できます。



温泉

錦江湾の東側に位置する大隅半島の温泉郷、垂水市には多くの温泉があり、市民や観光客、スポーツ合宿等の団体からも好評です。また、入浴だけに限らず、温泉水として飲食に活用され、鹿児島を代表する焼酎の仕込み水としてなど、今や垂水を代表する産業の一つになっています。



垂水 千本イチヨウ園

「まるで映画のワンシーンのようだ」そんな表現で紹介されることもある「垂水千本イチヨウ園」は4.5ヘクタールの敷地に、約千二百本のイチヨウが植樹してあります。昭和53年から園主の中馬夫婦が、二人三脚で作りに上げた「黄金の楽園」です。その景観の素晴らしさとご夫婦の活動が評価され、初代鹿児島県観光大賞を受賞しています。

雄大な山々、透き通った清流、人々のこころとからだを癒す温泉、四季折々の花々。

私たちのふるさとは、豊かな自然があふれています。

高隈連山

高隈連山は、鹿児島県で屋久島、霧島山に次ぐ高山で、1237mの大籠柄岳を主峰に、標高1000mを超える比較的急峻な高峰が連なっており、大隅半島の屋根と言われています。四季を通じて、登山客に人気のある登山コースで、山頂からの眺望は素晴らしい。霧島連山や桜島など360度の大パノラマをお楽しみいただけます。

高隈連山

- 大籠柄岳 : 1,237 m
- 小籠柄岳 : 1,149 m
- 二子岳 : 1,107 m
- 横岳 : 1,094 m
- 中岳 : 777 m
- 御岳 : 1,181 m
- 妻岳 : 1,147 m
- 平岳 : 1,105 m
- 七岳 : 881 m



勝軍地蔵

勝軍地蔵は、今から約五百年前の永正三年（室町時代の後期）、地頭で水之上高城の城主であった肥後文次郎盛明が戦勝、子孫繁栄、領内の平和を願って当時鹿児島県で有名な仏師、快扶に作らせたと言われています。

垂水島津家

垂水市は、約二百五十年間にわたり垂水島津家が治めてきました。垂水島津家の歴代の領主は、様々な偉業を残しています。四代久信のときに、林之城（現在垂水小学校のある場所）を中心とした城下町を形成し、七代久治から九代貴備の三代に渡り大掛かりな疎水事業を行ないました。また、この頃、現在の垂水市街地の中心部も発展していきました。さらに、十代貴澄は学問所としては県内二番目となる早さで「文行館」を創立し、学問に力を注ぐことで人を育てる、風土を築きました。

◀お長屋



◀垂水島津家墓所



和田英作 「富士山と薔薇」の画家

「渡頭の夕暮」「浜辺の早春」「思郷」「壁画落慶図」「富士」「ばら」など数多くの作品を発表し、日本洋画界に多大な貢献をしました。

瀬戸口藤吉 「軍艦マーチ」の作曲者

「軍艦行進曲（マーチ）」「軍艦の歌」「愛国行進曲」をはじめ童謡なども数多く作曲し、多くの大学で指導しました。また、管弦楽の普及や各地の少年鼓笛隊の設立にも尽力しました。

文化と歴史の

薫るまち

垂水市